

会 議 録

令和 7 年 5 月 7 日調製

審議会等名	令和7年度 第1回 社会教育委員会議及び公民館運営審議会		
公開の別	全 部 公 開		
開催日時	令和7年4月30日（水） 午後3時30分から5時00分まで		
開催場所	三条市中央公民館 2階 音楽視聴覚室	傍 聴 者	な し
		報道機関	な し
出席者氏名	委員 佐藤隆司委員（議長） 若月 章委員（副議長） （10人） 倉品 章委員 宮島 健委員 小川恵子委員 駒形広美委員 佐藤 互委員 其部恵子委員 橋本良嗣委員 石塚久雄委員 （欠席委員：山宮 尚委員、飯塚房子委員、佐藤ゆかり委員）		
	職員等 小林生涯学習課長兼中央公民館長兼栄公民館長兼下田公民館長 （11人） 長田生涯学習課課長補佐兼嵐南公民館長兼三条東公民館長 泉田生涯学習推進係長兼中央公民館主査 熊倉主任 五十嵐井栗公民館長 内山本成寺公民館長 田中大島公民館長 坂井大崎会館長 岡図書館長兼歴史民俗産業資料館長 安藤諸橋轍次記念館長 夏目㈱ヴィアックス三条営業所長		
議 題	(1) 第3次三条市生涯学習推進計画（令和6年度版）事業実績 ----- (2) 第3次三条市生涯学習推進計画（令和7年度版）（案）		
会 議 内 容			
泉田係長	令和7年度第1回社会教育委員会議及び公民館運営審議会を開会 する。始めに三条市生涯学習課長の小林が挨拶を申し上げる。		
小林課長	今回の議題については、次第のとおり予定している。各委員から 承認いただき、新年度の生涯学習事業を推進してまいりたい。		
泉田係長	続いて、新たに着任した長田課長補佐が自己紹介する。		
長田課長補佐	〈自己紹介〉		
泉田係長	それでは、三条市社会教育委員会議運営規則第2条及び三条市公 民館運営審議会規則第2条に基づき、この後の進行は佐藤議長から 願います。		

佐藤議長	本日、委員 13 人のところ、山宮委員、佐藤ゆかり委員、飯塚委員の 3 人が欠席で 10 名の出席となっており、委員の過半数がそろったことから、これより令和 7 年度第 1 回社会教育委員会議及び公民館運営審議会を開会する。 今回の議題及び報告に関しての質疑応答は、専門的な視点ではなく、各委員が参加することのできる全体的な視点での質疑応答を心掛けるようお願いします。 本日の議題「(1) 第 3 次三条市生涯学習推進計画（令和 7 年度版）（案）について」事務局から説明をお願いします。説明が多岐にわたり長時間となるので最初は生涯学習課と公民館、大崎会館の説明を受けた後に質疑応答を行う。次に図書館、歴史民俗産業資料館、諸橋轍次記念館の説明を受けた後に質疑応答とする。 （事務局説明）
佐藤議長	ただいまの説明について、何か質問、意見はあるか。挙手の上、発言をお願いしたい。
石塚委員	個々の内容ではなく、全体の進め方について。 令和 6 年度と令和 7 年度の資料を見比べているが、2 ページの基本方針、重点目標の内容が同じではないか。1 年間活動して成果、評価をし、反省があつて次年度の計画に結びつけていくというのが一般的な進め方ではないか。 総合計画委員も兼ねているが、項目ごとに○△×で足して 80% 以上だと達成しているとか、達成度合いを 3 段階に分けて常に軌道修正をしている。重点目標が昨年と全く同じというのは違和感がある。やればなんらかの反省があつて、次年度は軌道修正しようというものがあつてしかるべき。PDCA が回ったような運営の仕方を来年度以降もやっていただきたい。
佐藤議長	総合計画は評価があるが、こちらではそういった評価はあるか。
泉田係長	個々の事業についての見直しについては行っているが、実際に見える形では残していない。来年度の参考にさせていただく。
佐藤議長	毎年変わるのもどうかと思うが、総合計画 5 年間の中で 2 年過ぎたが、この 2 年間で踏まえた見直し等もあつていいかと思う。
宮嶋委員	井栗公民館の人生塾について、講演、視察研修の具体的な中身はどのようなものか。

五十嵐館長	主に老人会の会長で計画をたて、年に5回ほど開催しており、医師や一般の方の講演、音楽会などを開催する。コロナ前はバスで市外施設へ昼食を兼ねて見学に行ったが、ここ2回は市内見学になっている。
駒形委員	下田公民館の男性セミナーは、どういった方が参加するのか。また、どのような講座なのか。男性セミナーと女性セミナーを分ける意があるのか。
小林課長	先に女性セミナーがあり、高齢者教室以外の男性の参加率が減少していることから男性セミナーができた。 男女共同参画の中でジェンダーフリーの感覚を持ってはどうかという意見を参考に今後検討していく。
駒形委員	地域的な事かもしれないが、その方が参加しやすいのだろうか。講座名を変えた方が参加しやすいのではないかと。セミナーの参加は女性が多いように思うが、男性はどういったものを聞きにくのだろうか。歴史関係は男性の割合が多いのではないかと。男女の参加したいセミナーの傾向の違いがあるのではないかと。
小林課長	下田の高齢者教室は圧倒的に男性が多く、栄地区のいちい大学も男性が多い。男性セミナーというのは、1人暮らしの高齢者、特に男性の料理という意味だったが、指摘のとおりネーミングは検討課題である。栄で開催している男の料理教室も同じく検討する。
石塚委員	前回の質疑応答後の動向がわからない。各公民館事業の開催だけでなく、どういった形で市民に伝わっているか、伝え方は妥当なのか等の議論があったが、それについての現在の動きなどの議論が繋がっていくような報告をお願いしたい。
泉田係長	公民館事業の周知は、広報さんじょうと各公民館だよりの2つで公民館だよりは三条市公式LINEに投稿している。 事業については、開催後に参加者にアンケートを実施しており、その中に何を見て参加したかという設問がある。アンケート結果によると公民館だよりの多いので、重点をおいて周知していきたい。
石塚委員	自分の住んでいる地域は紙面が配られるが、他の地域はWEBで確認しないとわからないということか。

泉田係長	すべてを広報さんじょうに掲載することは難しい。紙面は各地区に配布するほか、三条市ホームページに掲載している。しかし、指摘のとおりホームページに掲載していること自体が、周知が足りていないので工夫が足りないと思っている。
小林課長	質疑や指摘に対して、次回以降取り組みがわかるよう、議事録として残すことを今回の指摘を受けて提案する。
坂井館長	昨年度に LINE で公民館だよりを入れて欲しいと要望し、現在、毎月 PDF で掲載してもらっている。実際に地域をまたいで申込があり、ICT の講習も広まって年齢層の高い方でも活用できるのではないか。今度も継続して欲しい。
佐藤議長	SNS の発達状況もあるし、公民館だよりは中央公民館に行けば紙ベースで全部そろっているの、それがわかれば活用していけるのではないかと。
小林課長	少しずつ進歩していくが、知られていないと意味が無いので、周知を続けていきたい。
佐藤議長	次に図書館、歴史民俗産業資料館、諸橋轍次記念館の説明を受けた後に質疑応答とする。
	(事務局説明)
佐藤議長	ただいまの説明について、何か質問・意見はあるか。
倉品委員	28 ページ (4) しかけ絵本の活用及び PR について 三条市はしかけ絵本蔵書日本一を目指してスタートしたが、コロナもありここ 1、2 年うやむやになっている気がする。三条市ではどんなビジョンを持って対応していくのか聞きたい。併せて県外から集めて審査をしたコンクールは計画になく、ただひたすらしかけ絵本日本一にしましょう！という感覚なのか、他に具体的なビジョンがあるのか、教えて欲しい。
小林課長	ご承知のように栄庁舎に特徴ある図書館があり、15 年前ほどに全国からしかけ絵本を公募で集めた。4、5 年間は賞金ありのコンクールを実施したが、その後は予算要求したが、時間の経過で知名度があがったという事で以降実施していない。市の姿勢としては、開館当時の考え方で蔵書がしっかりしているので、改めて公募するに

佐藤議長	は厳しい。指定管理者の方でワークショップを行っているので、ただやるだけではなく、この意見を踏まえて今後公募する等の調整が必要であれば予算要求するなど、あらゆる可能性を排除しないよう、しかけ絵本の活用を考える。 他に質問等がなければ、次第の4 報告に移る。 「(1)第3次三条市生涯学習推進計画（令和6年度版）事業実績について」事務局から説明をお願いしたい。 （事務局説明）
佐藤議長	ただいまの説明について、何か質問、意見はあるか。 ないようなので、了承したとさせていただきます。 続いて、報告「(2)中越地区社会教育委員連絡協議会の解散について」事務局から説明をお願いしたい。 （事務局説明）
佐藤議長	みなさん、納得いただけたか。実際に会議に加わって、一番の解散しなければならない理由は県職員が引き上げたことである。職員がいなければ事務局をやる人がいない。例えば市町村に事務局を回すと職員の負担が増えるので、それは難しいだろうとやむなく解散となった。上越、下越も解散した。今後、県の研修等もあるので、積極的に参加していただきたい。 それでは、本日、用意された議題について無事終了することができた。なお、本日の記録については生涯学習課職員が作成した記録に基づき、私と事務局が確認の上、会議録として調製しホームページにあげる。 以上で本日の会議を終了する。委員の皆様におかれましては長時間に渡り協議いただき感謝する。
泉田係長	現在の社会教育委員兼公民館運営審議会委員の任期が来月末で満了となる。先日公募も終わり、現在、事務局で調整し、委嘱の準備を進めている。2年間、委員を務めていただき感謝する。